

# 問 アサリまつり復活で誘客を



議員 清 昆 ( 新 生 会 )

# 答 「海業」の計画策定で実施を検討



「海業」で織笠漁港を元気に

問 本年7月には新道の駅が開業し、その

後、山田北ICがフル化になる見込みであるなど、当町には多くの観光客が来訪すると思われる。以前にも質問したが、アサリまつりの復活を願う町内外からの声が多くある。そこで何うが、アサリまつりを復活させ、道の駅や鯨と海の科学館に人が集まり、商店街、山

田町が潤うような仕組みを作っていたらきたいがどうか。  
佐藤町長 アサリまつりは春の誘客及び町内消費に資するものであり、国が掲げる「海業」の取組の一つとして有効であると捉えている。先般「海業」の基本計画策定について、岩手県

強い水産業づくり交付金事業に採択されるところであり、町営漁港を核とした海業振興基本計画の策定の中で、アサリまつりの実施について検討していきたい。なお、予算については、本議会で審議いただく補正予算に所要額を計上している。

**用語解説**  
**海業** 活力が低下している漁村ににぎわいを創出するため、水産庁が令和4年に策定した水産基本計画などにおいて、「海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業」の振興を位置づけたもの。

## 問

## 織笠地区の道路段差解消を

## 答

## 6月中に補修工事を実施

問 織笠漁港入口付近に段差があり、車の交通に支障が出ているが当局は把握しているか。

町長 織笠漁港入口付近の段差については把握しており、6月中に補修工事を実施する予定である。

問 織笠低地部の水産加工場付近の町道の段

差や、道路の傷みによりトラックや乗用車の運転に支障を来している。車の破損にもつながることから、早急に対策をお願いしたいが当局の考えは。

町長 織笠低地部の町道2路線で生じている段差のうち、水産加工場側の森ヶ下線については、現在補修工事中

で、6月中に完成する予定である。また、残るサギの巣・妻の神線の補修についても順次進めていく。

### その他の質問

- ◆ 町営住宅の集約化は
- ◆ 投票率向上の対策は